

経営比較分析表

愛知県 豊橋市

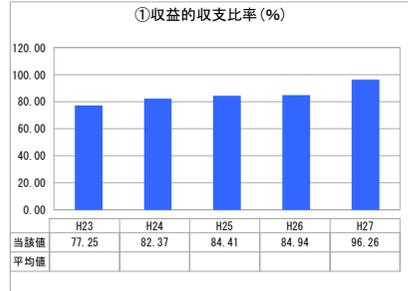
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.34	93.88	1,911

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
378,485	261.86	1,445.37
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,837	4.03	2,192.80

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [] 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



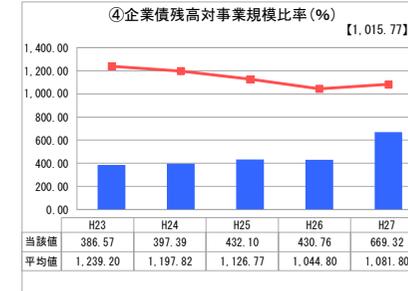
「単年度の収支」



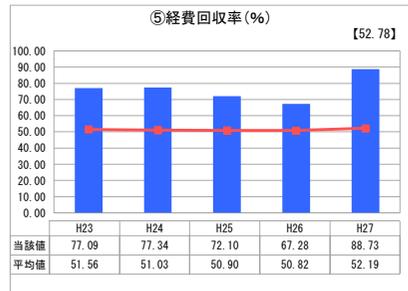
「累積欠損」



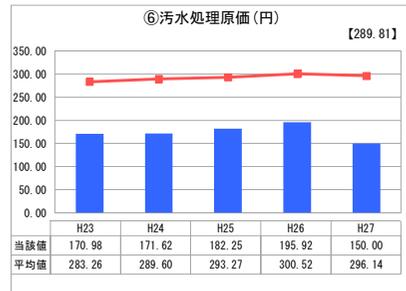
「支払能力」



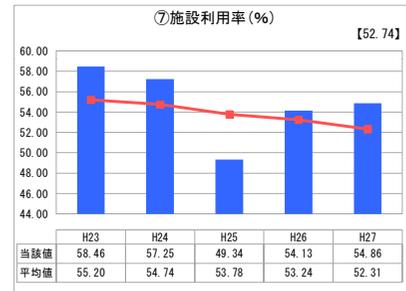
「債務残高」



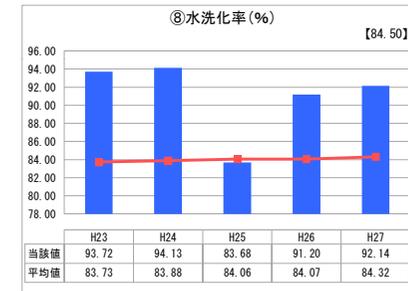
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

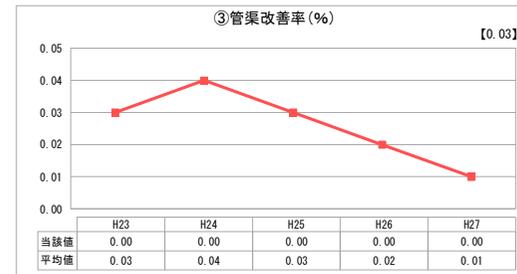
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率は、収支不足が生じている状況が続いているが、平成27年度においては前年度から11.32ポイント増加した。これは分子である総収益が他会計繰入金が増などにより増加したためである。
- ④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値、全国平均と比べ低い水準を保持しているが、一般会計負担率の算定方法の変更に伴い、平成27年度において前年度から238.56ポイント増加した。今後は施設の更新等が必要となるため、引き続き計画的な投資を行っていく。
- ⑤経費回収率は、類似団体平均値、全国平均を上回っており、平成27年度において前年度から21.45ポイント増加した。また、汚水処理原価は類似団体平均値、全国平均を下回っており、平成27年度において前年度から45.92ポイント減少した。これらは繰出基準額の算定方法の変更に伴う汚水処理費の減などが要因である。更なる事業の健全経営のため、維持管理費等の削減を図る必要がある。
- ⑧水洗化率は、類似団体平均値、全国平均と比べて高い水準を満たしており、整備地区の供用開始以降増加している。

2. 老朽化の状況について

- 現在のところ管渠の更新投資・老朽化対策の実施はないが、今後は管渠の経過年数が増えていくことを踏まえて、計画的な対策をしていく必要がある。

全体総括

- 経営の健全性・効率性については、平成27年度は経費回収率の増加、汚水処理原価の減少により収益的収支比率の増加となったが、収支不足が生じている状況が続いている。今後は整備地区における水洗化率の増加は見込まれるものの、人口減少、節水意識の高揚などにより経営環境が厳しくなることが予想されるため、水洗化率の向上を図るなど収入確保に取り組み、維持管理費などの処理コストを削減し、更なる経営の改善をしていく必要がある。
- 老朽化の状況については、今後管渠の経過年数が増えていくことを踏まえて、長寿命化や更新投資を計画的に実施していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。